

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2015年 7月10日

No 331

発行者ELIC編集委員会谷口利男
105-0004 東京都港区新橋4-24-3
Tel/Fax (03) 6450-1777 エムエフ新橋601
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

処遇制度の大改悪阻止学習会

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、6月27日(土)午後1時30分～4時55分にかけて都内「東京都南部労政会館」会議室にて、「処遇制度の大改悪とたたかう」政策学習会を開催しました。この集いには、14企業連・3団体から40人が参加しました。（写真右）

司会は谷口利男電機懇事務局長が行い、電機懇今井節生代表が「電機労連時代からの処遇制度の経緯を振り返り、本格的に解明することの重要性がある」との主催者挨拶を行いました。

職場実態報告は、ソニー労組仙台支部の松田隆明委員長から「ソニーは役割評価の人事制度改悪で降格・賃下げ自由、新たな追い出し政策」について告発、ルネサス懇の代表代行は「ルネサスの賃金差別と社員いじめ」について、労使合意の処遇制度を悪用した降格・減給など人権無視の実態を告発、日立懇の馬場豊彦事務局長は「日立の処遇制度改悪について」グローバル経営の名の下で労使一体となった労働強化と処遇悪化の実態を告発、沖電気の職場を明るくする会の相原幸雄事務局長は「OKIの賃金制度（職務グレード制）と処遇制度改悪の提案について」総人件費削減の狙いを報告しました。



講演は「賃金管理改革の現況—自己責任化VS働きがい—」と題して明治大学経営学部教授の黒田兼一さんに行なって頂きました。（写真左）



講演は、プロジェクターで詳細な資料50ページを使って行われ、特に個人でなく労働組合が関与している事案について解明がなされ、科学的な査定が無い中で査定を受けた労働者が異議を申立てている状況で、加入されているユニオンがその労働者と同席して解決を図るとの取り組みの提起は、大変に有意義な講演となりました。

閉会挨拶は、電機・情報ユニオンの米田徳治委員長が行い、大手電機の職場で実施されている処遇制度の大改悪は、既存の労働組合が労使協定で合意した事で実施されており、闘うユニオンの役割を重視し、電機大リストラに反撃し、雇用とくらしを守ろうと訴えました。

今月号の紙面

- ① 処遇制度の大改悪を阻止する
- ② 沖電気の株主宣伝と質問の実施
- ③ ルネサス、違法派遣を認める
三菱電機株主総会と要請行動
- ④ 日立労組本部に8職場から要請
- ⑤ 愛知電機懇、第25回総会を開催
神奈川電機懇「年次総会」
- ⑥ アプラス「東芝の会」今井さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ ルネサス闘争8・2支援集会
世話人会と総会案内。集積回路